

共生社会推進検討委員会 事務局報告の概要

**事業を通じて見えてきた主な課題**

**【共生の意識の形成】**

- ・短期・中期・長期の具体的な目標設定や評価指標が難しい。

**【十分な情報のやりとりを可能にするための施策】**

- ・相談や要望を受けるなかで、相談支援を必要とする市民であればあるほど、合理的に配慮を訴えにくいことが見て取れる。

**【多様性に配慮した社会基盤施設等の整備】**

- ・財政面での課題。
- ・民間事業者等との調整。

**【共生の地域づくり】**

- ・市民、事業者の理解や、それぞれとの連携が不可欠。市民ニーズをベースに市民の主体性をどう取組につなげるか。
- ・福祉相談において包括的、総合的な体制をとろうと思っても、縦割りで整備されてきた制度を横断した相談体制づくりに移行するのは簡単ではない。

**【災害等への対応における多様性に配慮した支援】**

- ・台風 15、19 号では、避難所や情報提供のあり方、ペットへの対応等が課題になった。

**【市職員への啓発】**

- ・研修の場において、社会状況の理解や新しい知見の習得は進んでも、そこから更に一歩進んで、そこでの学び、気づきを各自の業務にまで落とし込むまでに至らない。このまま同じような研修をしても届かないのではないか。
- ・合理的配慮の提供に対する意識を高める必要がある。

**【行政計画等への反映】**

- ・条例施行後、共生社会に向けての取組は、もう少し理念的、計画論的な話になるかと想像していたが、想定よりも個別具体的で丁寧な対応を行っている状況にある。
- ・事務事業への反映について、市の様々な行政プロセスのどこに関与すればよいのか、事案が出てから探し始めるのが現状。関与する範囲に決まりはなく、地域共生課の役割次第で、共生の推進が各課にとって他人事となりかねないのもジレンマ。